WideAngle セキュリティ教育＆メール訓練

管理者マニュアル
～スタートアップ編～
Ver2.06

2026年9月18日

NTTドコモビジネス株式会社

PS本部M&S部SS部門2G

はじめに

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

本ガイドではKnowBe4をご利用いただくにあたり、管理者向けの基本的な手順や標準的な設定内容を記載しています。

管理者編

A 初期設定

A-1 初期ログイン
A-2 多要素認証の設定
A-3 グループの作成
A-4 ユーザーの作成
A-5 ホワイトリストの登録
A-6 URLフィルタリングの閲覧制限の解除
A-7 Phish Alertボタンの配布

B セキュリティ教育

B-1 ログイン
B-2 トレーニングコンテンツの選定
B-3 トレーニングキャンペーンの作成
B-4 進捗・結果の確認

C フィッシングメール訓練

C-1 ログイン
C-2 訓練メールの選定
C-3 フィッシングキャンペーンの作成
C-4 結果の確認

D 評価・分析

D-1 ダッシュボード
D-2 レポート

管理者編 ※管理者がユーザーとして受講する場合

E マイトレーニング

E-1 受講者ホームログイン

ユーザー編

ユーザーマニュアルを
ご確認ください。

その他任意設定や補足情報については、管理者マニュアル～付録編～、またはKnowBe4ナレッジベース（https://support.knowbe4.com/hc/ja）をご確認ください。
本マニュアルや操作についてのご質問は、サポートサイト（https://support.ntt.com/wideangle-st）からお問い合わせください。

用語集

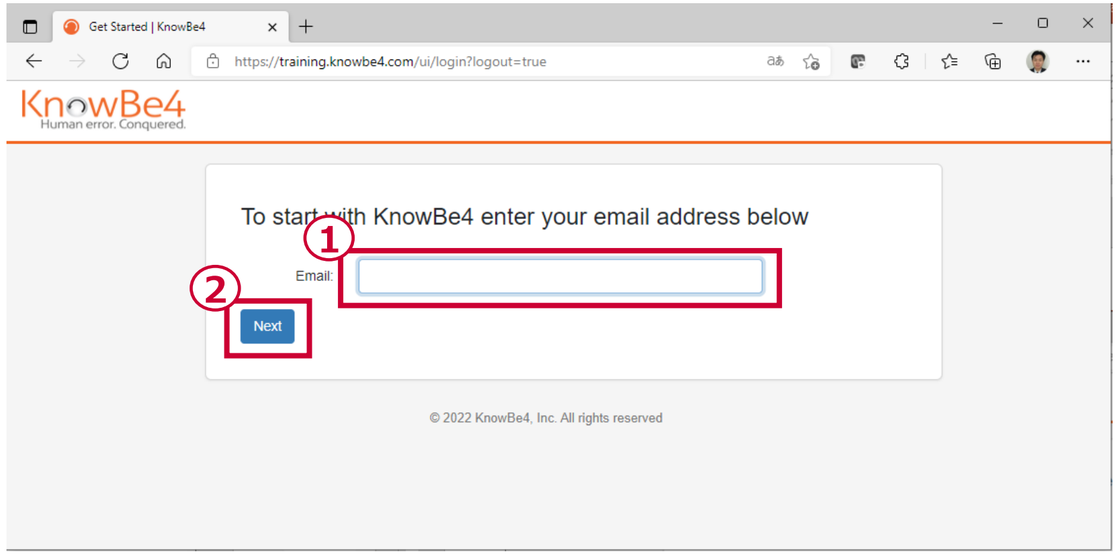
つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

No	用語	定義
1	KnowBe4	セキュリティ意識向上トレーニング/Security Awareness Trainingを提供する会社名であり、サービス名です。
2	フィッシング	標的型メール攻撃やビジネスメール詐欺などを含む、メールによるセキュリティ脅威を指します。
3	Phish Alert	ユーザーがお客さま管理者へメール通知するアプリケーションです。OutlookのツールバーやMicrosoft 365やGoogle Workspace のブラウザへアドインします。
4	PAB	Phish Alert Buttonの略称。Phish AlertアプリケーションのGUIのボタンです。
5	コンソール(Console)	お客さま管理者がKnowBe4サービスを利用するWebサイトのコンソールです。セキュリティ教育のトレーニングやフィッシングメール訓練の設定や、ユーザーの学習状況を確認します。
6	キャンペーン	ユーザーへ実施するセキュリティ教育やフィッシングメール訓練のイベントです。

A 初期設定

A-1 初期ログイン

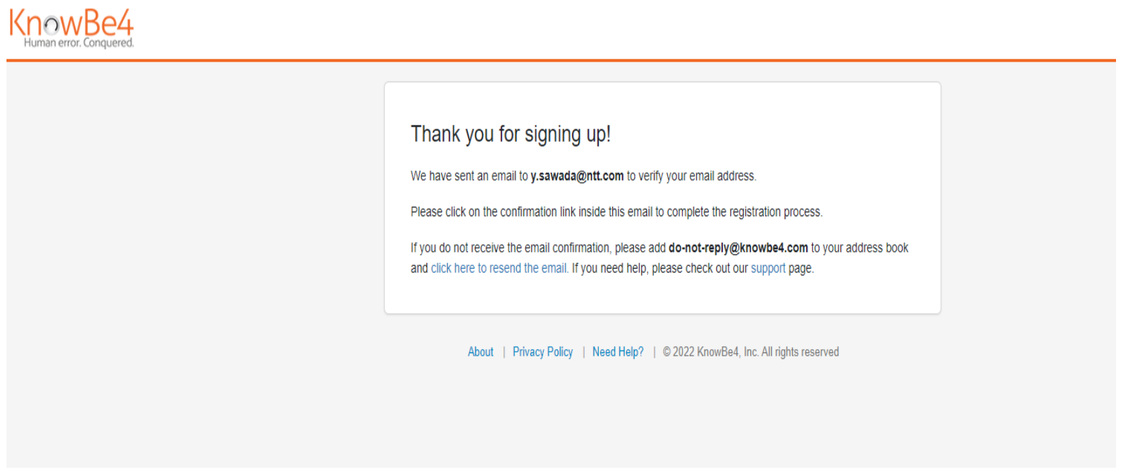
つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business



- KnowBe4 コンソール（https://training.knowbe4.com）へアクセスしてください

① Emailにお申し込み時に記載された管理者メールアドレスを入力します。

②「Next」をクリックします。

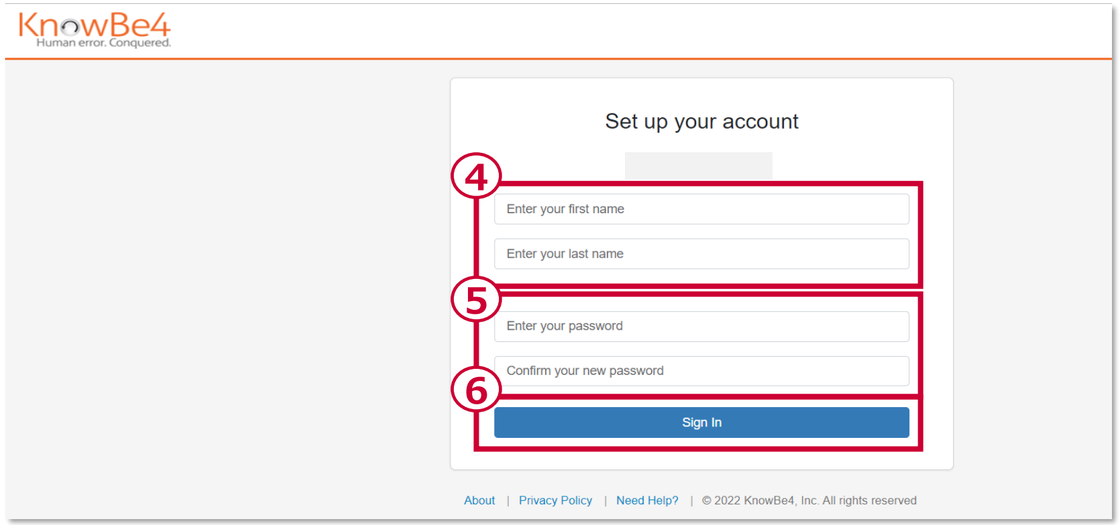


- サインアップの画面が表示され、アカウント有効化のHTMLメールがお申し込み時に記載された管理者メールアドレスへ送信されます。
- KnowBe4社（do-not-reply@knowbe4.com）からのメールを確認したらこの画面を閉じてください。

A-1 初期ログイン

アカウント有効化のHTMLメールを開きます。

③「アカウントを有効化」をクリックします。

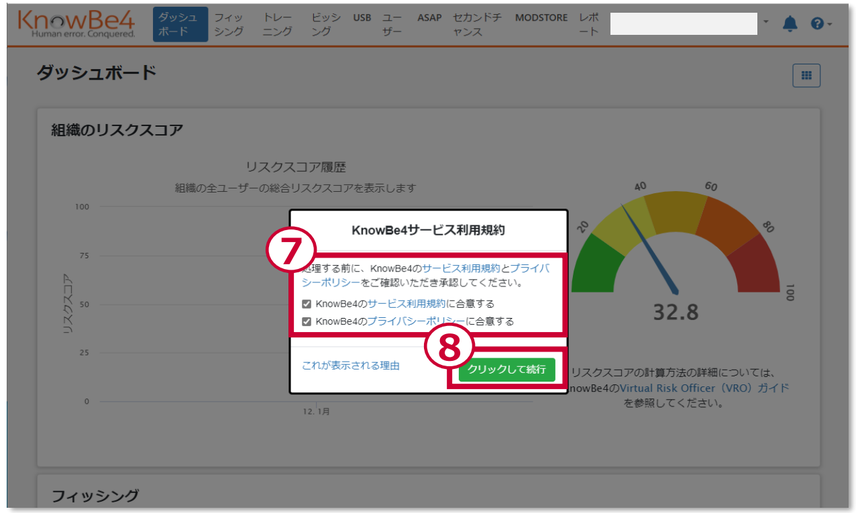


④「Enter your first name」、「Enter your last name」に名・姓を入力します。
※アルファベット/ひらがな/カタカナ/漢字可

⑤「Enter your Password」、「Confirm your new password」に任意のパスワードを入力します。※8～128文字

⑥「Sign In」をクリックします。

A-1 初期ログイン



⑦「サービス利用規約」と「プライバシーポリシー」をそれぞれクリックし内容を確認後、「KnowBe4のサービス利用規約に合意する」「KnowBe4のプライバシーポリシーに合意する」にチェックを入れます。

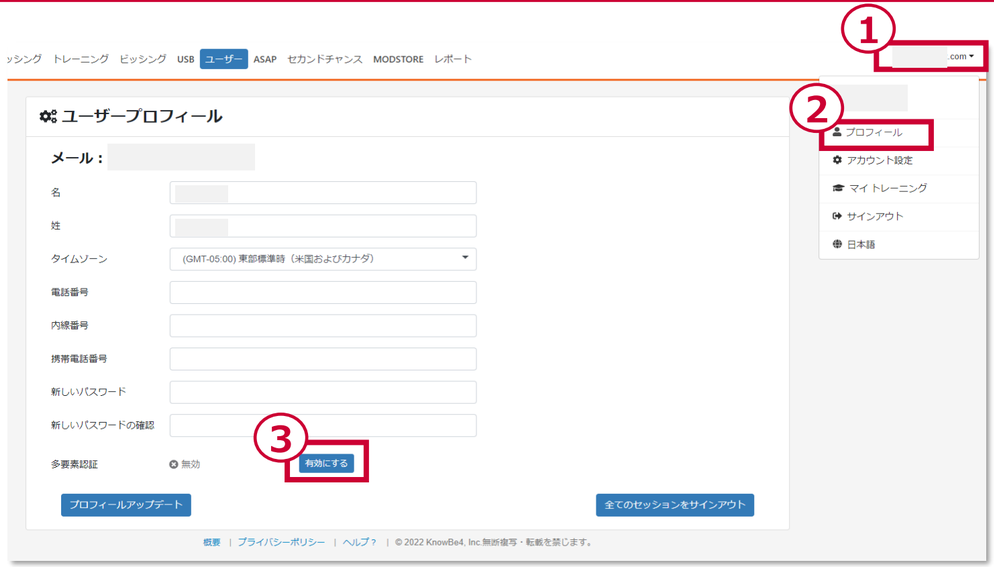
⑧「クリックして続行」をクリックします。

コンソールにログイン完了です。

A-2 多要素認証の設定

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

※任意設定です。必須ではありません。
※認証コードを3回誤ると1時間ロックがかかります。すぐにロックを解除したい場合は、管理者側で多要素認証を無効化しユーザー側で多要素認証を再設定してください。



①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「プロフィール」をクリックします。

③「多要素認証」の「有効にする」をクリックします。

④認証アプリケーションを使用してQRコードをスキャンまたはコードを入力します。
※推奨している認証アプリケーションはAuthy、Google Authenticator、
LastPassです。

⑤認証アプリケーションに表示されるワンタイムパスワードを入力します。

多要素認証が有効になりました。

A-3 グループの作成

セキュリティ教育やフィッシングメール訓練を実施する前に、あらかじめ対象者をまとめた任意のグループを作成します。

①メインメニューから「ユーザー」をクリックします。

②「グループ」をクリックします。

③「＋新しいグループの作成」をクリックします。

④グループ名を入力します。

⑤「グループ作成」をクリックします。

グループが登録されました。

A-4 ユーザーの作成

セキュリティ教育やフィッシングメール訓練を実施する対象者のユーザーアカウントを作成します。

①メインメニューから「ユーザー」をクリックします。

②「ユーザーのインポート」をクリックします。

③「CSVのインポート」をクリックします。
※直接メールアドレスを入力して登録する場合は「クイックインポート」をご利用ください。

④CSVファイル（UTF-8形式）を作成し、アップロードしてください。
※CSVファイルの作成例

	A	B
1	Email	Group
2	test1@kb4-demo.com	test1（グループ名）
3	test2@kb4-demo.com	test2（グループ名）
4	test3@kb4-demo.com	test3（グループ名）

管理者権限のユーザーを作成する場合は、Groupに「管理者」を指定してください。

初期設定では、お申し込み時に記載いただいた管理者さまを「管理者」グループに追加してユーザー作成しています。

⑤「ユーザーのインポート」をクリックします。

ユーザーが登録されました。
各ユーザーにユーザーマニュアルを配布し、各自初期設定を行ってください。

A-5 ホワイトリスト登録

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

※ここでは「Microsoft365」の設定手順を説明します。「Microsoft365」以外の設定方法は以下をご参照ください。
ホワイトリスト登録ガイド – KnowBe4 ナレッジベース

※Microsoft365等のお客さま環境の設定については、お客さまにてご確認ください。

適切な初期設定を行わずに訓練メールを送信するとMicrosoft365のセキュリティ機能により訓練メールがブロックされてしまいます。そのため、訓練メールが誤ってブロックされないよう、以下のようにKnowBe4とMicrosoft365で設定を行う必要があります。

- **KnowBe4での設定（DKIM署名の設定）**

  KnowBe4から送信される訓練メールにDKIM署名を付与する設定をします。

  これによりMicrosoft365側でスパム判定されにくくなります。

- **Microsoft365での設定（ホワイトリストの設定）**

  訓練メールが検疫もしくは迷惑メール判定されないように訓練メール送信元のIPおよびドメインを設定します。

  ※既存のメール環境への影響はありません

A-5 ホワイトリストの登録

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

・KnowBe4での設定（DKIM署名の設定）

①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「アカウント設定」をクリックします。

③「フィッシング」をクリックします。

④「DKIM署名の有効化」にチェックを入れます。

⑤「KnowBe4の署名ドメインを使用」をクリックします。

⑥「DKIM設定の保存」をクリックします。

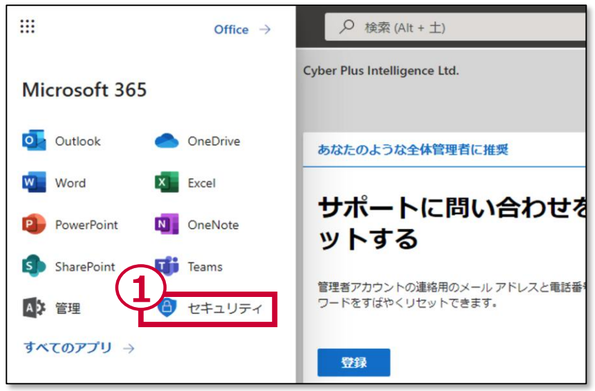
⑦「変更を保存」をクリックします。

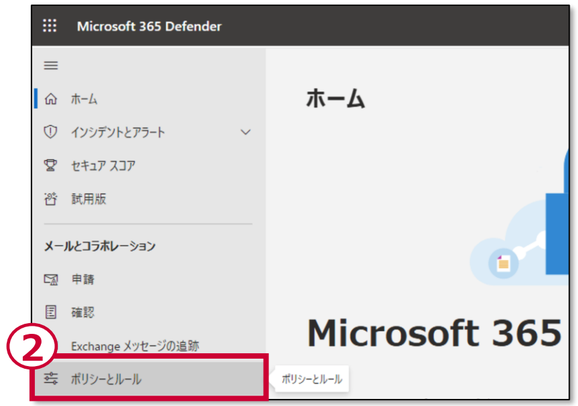
続いてMicrosoft365での設定を行います。

A-5 ホワイトリストの登録

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

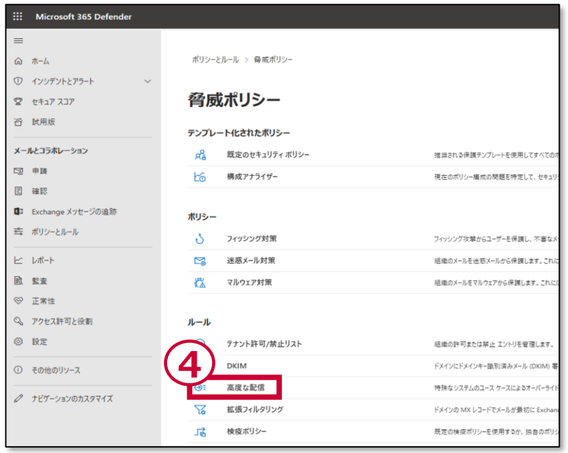
・Microsoft365での設定（ホワイトリストの設定）





①Microsoft365管理センターのメニューから「セキュリティ」をクリックします。

②「ポリシーとルール」をクリックします。



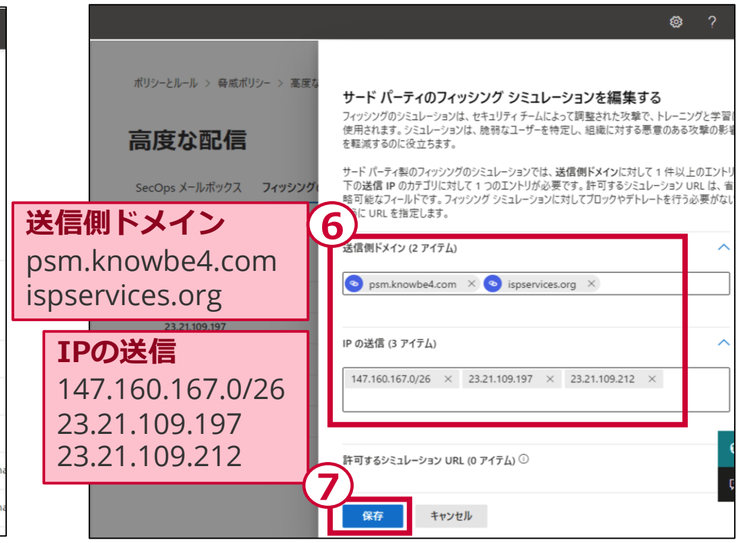
③「脅威ポリシー」をクリックします。

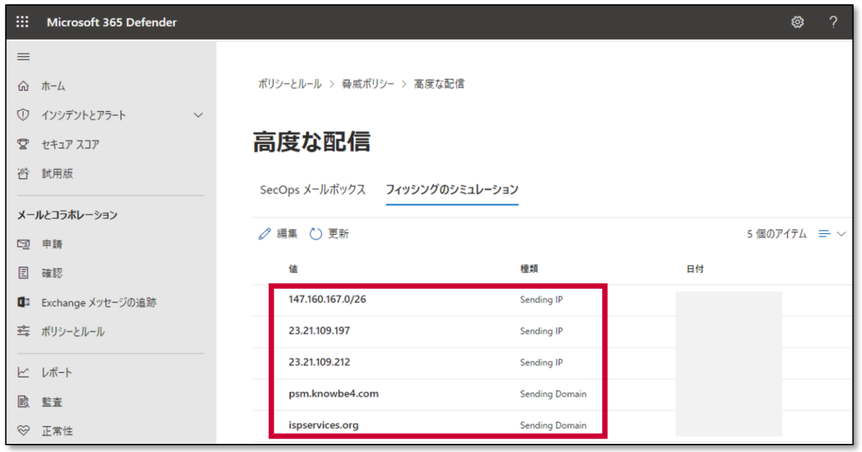
④「高度な配信」をクリックします。

A-5 ホワイトリストの登録

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

・Microsoft365での設定（ホワイトリストの設定）





⑤「フィッシングのシュミレーション」をクリックします。

⑥「送信側ドメイン」「IPの送信」を左記の通りに設定します。

⑦「保存」をクリックします。

正しく設定されていることを確認します。

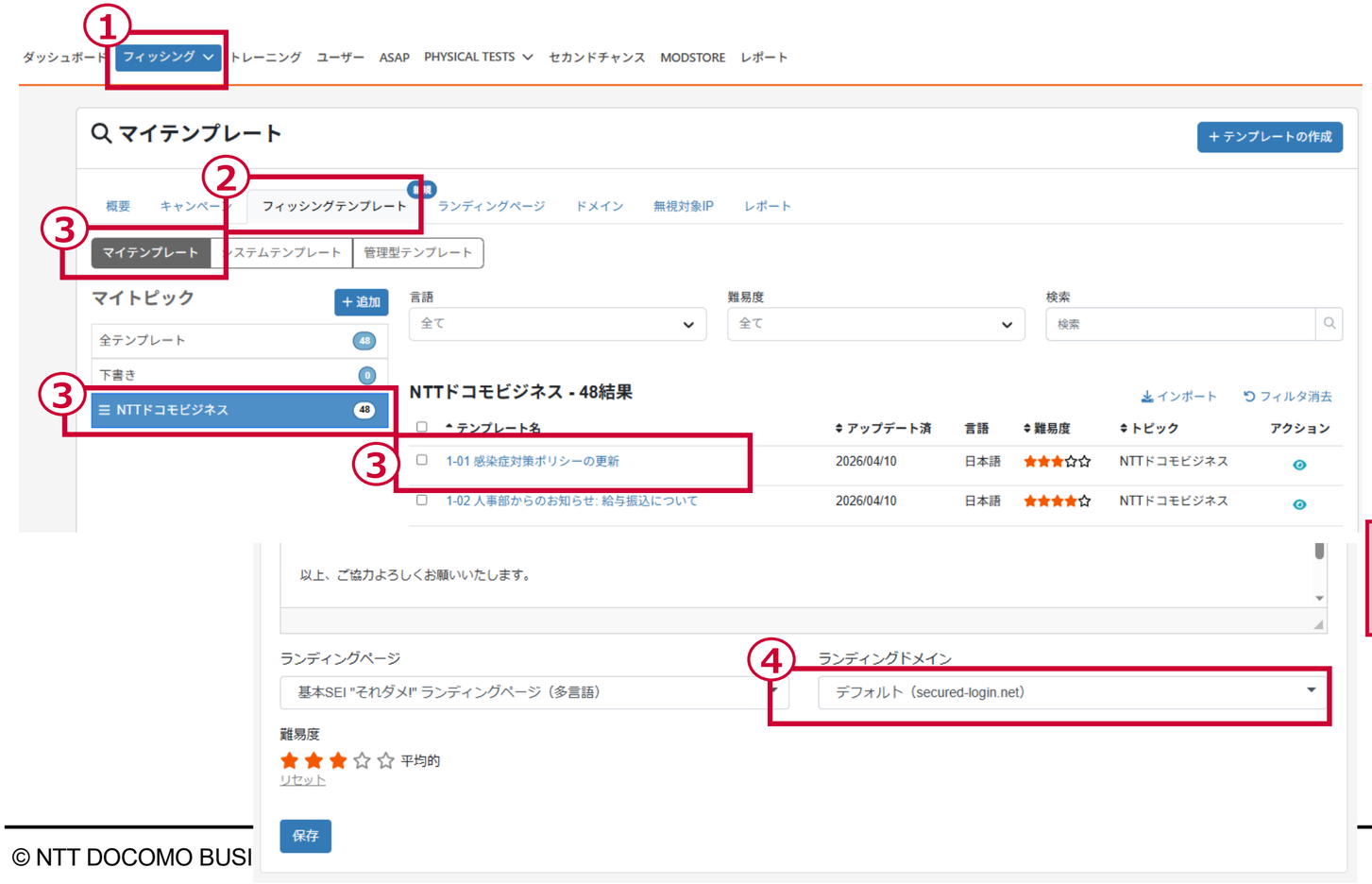
以上でホワイトリストの設定は完了です。

A-6 URLフィルタリングの閲覧制限の解除

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

お客さま環境によっては、フィッシングメール訓練の際、ランディングページ（訓練メール内のリンクをクリックした場合に表示されるWebページ）にアクセスできない場合があります。そのため、以下の手順でランディングページと、フィッシングリンクのドメインを確認し、お客さま環境のURLフィルタリングの閲覧制限の解除を行ってください。

・ランディングページのドメイン確認



①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②「フィッシングテンプレート」をクリックします。

③使用するテンプレートをクリックします。
（この例では、「マイテンプレート」の「NTTドコモビジネス」の「1-01」をクリック）

④ランディングドメインに設定されているURLを確認します。

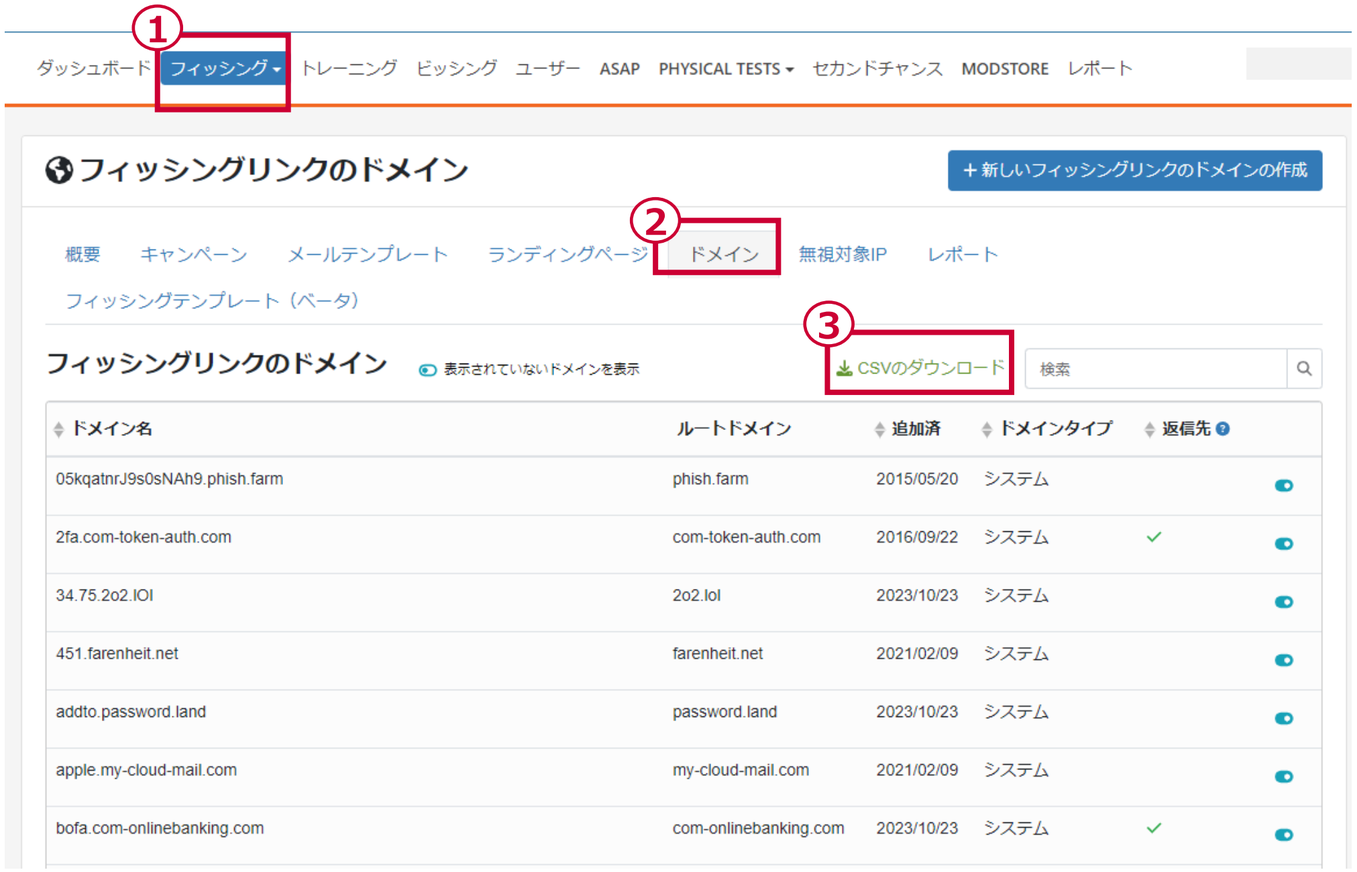
スタートアップ編では以下のランディングページの使用を推奨しています。
カテゴリ：管理型ランディングページ
「基本”それダメ!“ランディングページ（多言語）」

A-6 URLフィルタリングの閲覧制限の解除

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

・フィッシングリンクのドメイン確認

フィッシングキャンペーンの作成で、フィッシングリンクのドメインを「ランダムドメイン」のデフォルト設定とする場合は次のKnowBe4のドメインすべて、指定する場合はそのドメインをお客さま環境のURLフィルタリングの閲覧制限の解除を行ってください。（フィッシングキャンペーンの作成についてはC-3を参照ください）

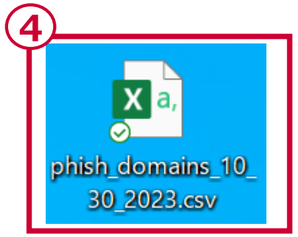


①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②「ドメイン」をクリックします。

③「CSVのダウンロード」をクリックしてダウンロードします。

④CSVファイルを開いてフィッシングリンクのドメインを確認します。
（CSVファイルの内容は、フィッシングリンクのドメイン画面に表示されているものです）



	A	B	C	D	E	F
1	Domain N	Root Domain	Created A	Domain T	Reply-To	Hidden
2	online-ba	kb4.io	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
3	en-us.sec	kb4.io	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
4	mail.kb4.i	kb4.io	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
5	breakingn	comano.us	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
6	secure-m	magnetonics.com	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
7	socialmed	bloemlight.com	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
8	messagin	comano.us	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE

フィッシングリンクのドメインはアナウンスなく不定期に変更されますので、「ランダムドメイン」を利用する場合は、お気を付けください。
今までの実績では、変更は1年に1回あるかないかの程度です。

A-7 Phish Alertボタンの配布

※お使いのメールサーバー及びメールクライアントと互換性のあるPABのバージョンについては、以下をご参照ください。
Phish Alert Button互換性マトリックス – KnowBe4 ナレッジベース

Phish Alertボタン利用時の注意点

プロキシーがある場合は、
次のアクセス先に対してプロキシーまたはプロキシー認証をバイパス設定することが必要です。
・outlook.office365.com
・outlook.office.com
・*.knowbe4.com

①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「アカウント設定」をクリックします。

③「アカウント統合」の「Phish Alert」をクリックします。

④「非シュミレーションメールの送信先」にPhish Alertボタンの通知を受け取る管理者のメールアドレスを入力します。
※メーリングリストや本サービスお申し込み時に登録しているドメイン以外のメールアドレスも設定可能です。

⑤「言語」を選択します。
※「＋」を押すと編集画面が表示されメッセージ等をカスタマイズできます。

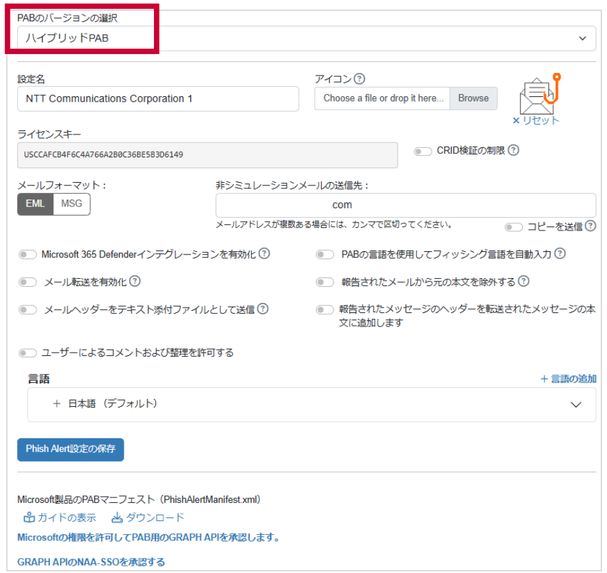
⑥「Phish Alert設定の保存」をクリックします。

※ MicrosoftリボンPAB製品マニュアルはこちら
※「PABのバージョン選択」が「MicrosoftリボンPAB 」以外の場合は次ページの画面表示となります

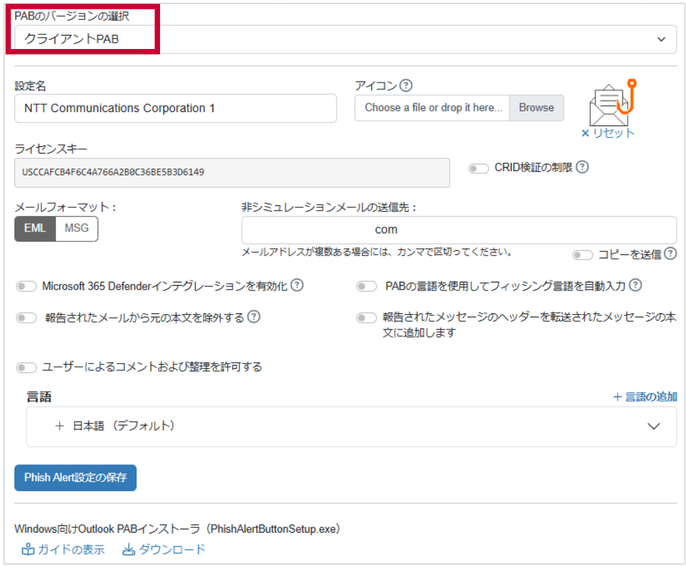
A-7 Phish Alertボタンの配布

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

「PABのバージョン選択」が「ハイブリッドPAB 」の場合の表示



「PABのバージョン選択」が「クライアントPAB 」の場合の表示



「PABのバージョン選択」が「Google PAB 」の場合の表示

※ Gmail PABアドオン製品マニュアルはこちら

「PABのバージョン選択」が「Chrome PAB 」の場合の表示

※ Chrome Gmail PAB向けPABガイドはこちら

A-7 Phish Alertボタンの配布

⑦ライセンスキーをコピーします。

⑧「MicrosoftリボンPAB（PhishAlertManifestMSR.XML）」をダウンロードします。

ライセンスキーとダウンロードファイルをユーザーへ配布し、ユーザーマニュアルの手順に従いPhish Alertボタンを各自インストールしてください。

ユーザーがPhish Alertボタンを押した場合の動作

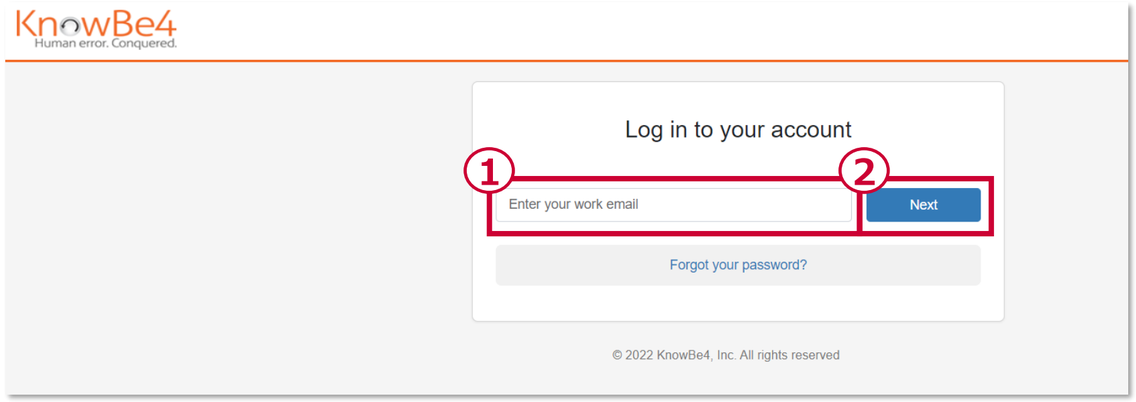
訓練メールの場合
「ダッシュボード」の「Phish Alertボタン」の「シュミレーションメール」にカウントされます。

訓練メールではない場合（実際のフィッシングメール）
「ダッシュボード」の「Phish Alertボタン」の「非シュミレーションメール」にカウントされ、かつ設定した「非シュミレーションメールの送信先」にメールが転送されます。
送信元アドレス：Phish Alertボタンを押したユーザーのメールアドレス
件名：［Phish Alert］FW：～～

転送メールを受け取った後は管理者にて適切に対応してください。

B セキュリティ教育（トレーニング）

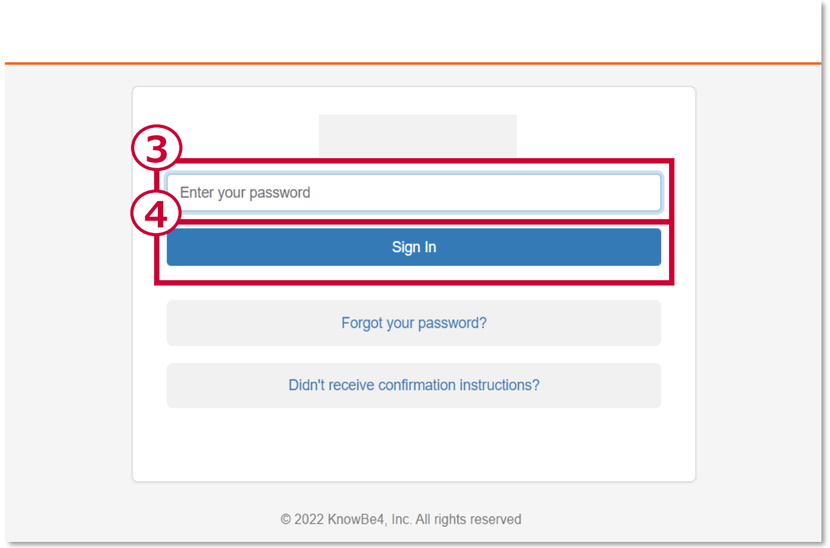
B-1 ログイン



KnowBe4（https://training.knowbe4.com）へアクセスします。

①登録済みのメールアドレスを入力します。

②「Next」をクリックします。



③登録済みのパスワードを入力します。

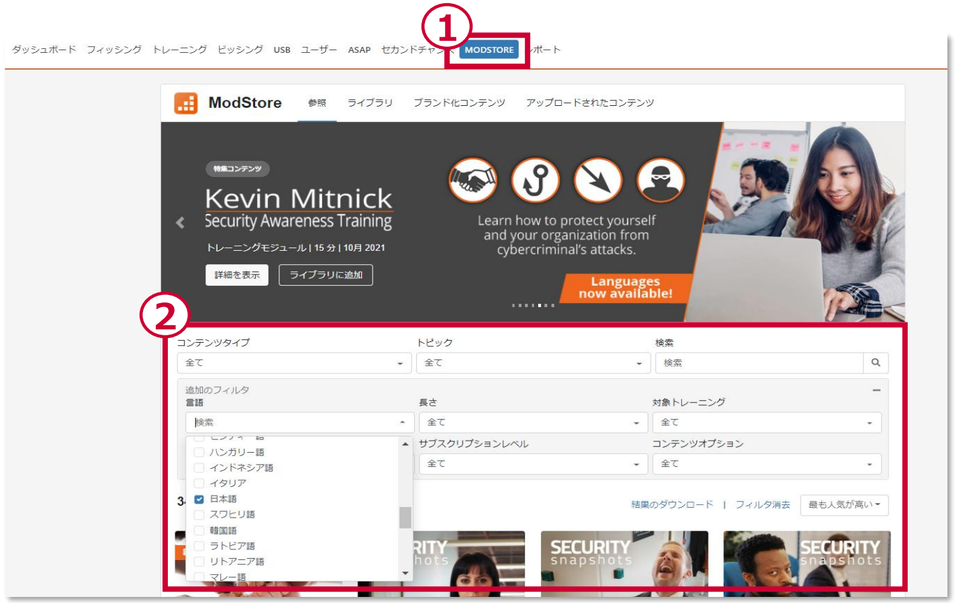
④「Sign In」をクリックします。

コンソールにログイン完了です。

B-2 トレーニングコンテンツの選定

※NTTドコモビジネスオリジナルコンテンツを使用する場合は、B-2の手順は不要です。B-3へ進んでください。

セキュリティ教育で使用するコンテンツを、あらかじめライブラリへ登録します。



①メインメニューから「MODSTORE」をクリックします。

②フィルタから希望の条件を選択しチェックを入れます。

検索結果が自動で表示されます。

参考：おすすめトレーニングコンテンツ
- セキュリティ スナップショット第1話-12話（ビデオモジュール）
- セキュリティ モーメント シリーズ：不正リンクを見破れ（ビデオモジュール）
- ランサムウェアから身を守る方法（トレーニングモジュール）
- フィッシングの基礎（トレーニングモジュール）

③検索結果からトレーニングに使用したいコンテンツにカーソルを合わせ、「ライブラリに追加」をクリックします
※「詳細を表示」からコンテンツのプレビューを確認することもできます。

ライブラリにコンテンツが登録されました。

B-3 トレーニングキャンペーンの作成

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

トレーニングキャンペーンを作成します。

①メインメニューから「トレーニング」をクリックします。

②「キャンペーン」をクリックします。

③「＋トレーニングキャンペーンの作成」をクリックします。

①キャンペーン名：任意のキャンペーン名を入力します。

②開始日：キャンペーンの開始日を指定します。

③終了日：キャンペーンの終了日を指定します。

④内容：事前にライブラリに登録しているトレーニングコンテンツを選択します。（複数選択可）

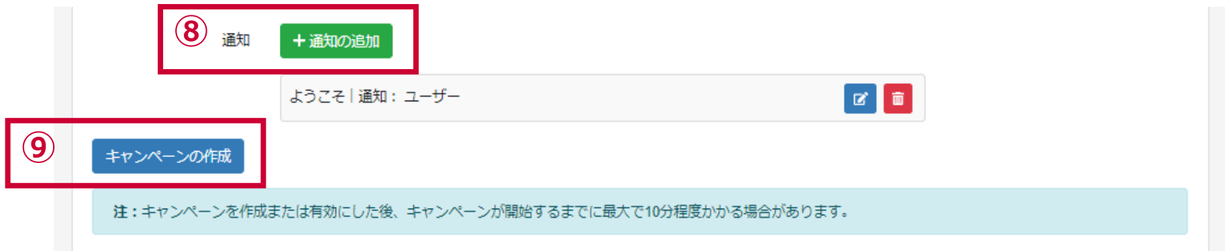
★NTTドコモビジネスオリジナルコンテンツ
「アップロードされたコンテンツ」からNTT ドコモビジネスオリジナルコンテンツが選択できますので、ぜひご活用ください。

⑤グループの登録：事前に作成した、トレーニングを実施するグループを選択します。（複数選択可）

⑥通知：「通知の追加」をクリックします。

B-3 トレーニングキャンペーンの作成

※マネージャーにチェックすると、ユーザーのマネージャーにも通知することができます。
（ユーザー情報からマネージャー情報の登録が必要）
※管理者にチェックすると管理者権限のユーザーにも通知することができます。



以下を参考にキャンペーン内容を設定します。（続）

⑦通知タイプ：通知タイプを設定します。

通知タイプ：「ようこそ」を選択します。
受信者：「ユーザー」にチェックをいれます。
テンプレートの選択：「NTTドコモビジネス」カテゴリから「トレーニングの開始（From KnowBe4）」を選択します。
保存：「保存」をクリックします。
※キャンペーン開始時間にユーザに自動でメール通知をします。

⑧「＋通知の追加」をクリックし、以下２つの通知も設定します。

通知タイプ：「期日前のリマインダー」を選択します。
リマインダーの送信：期日の何日前に送信するか日数を入力します。
受信者：「ユーザー」にチェックをいれます。
テンプレートの選択：「NTTドコモビジネス」カテゴリから「トレーニングのリマインダー（From KnowBe4）」を選択します。
保存：「保存」をクリックします。
※設定した期日前にユーザーに自動でメール通知をします。

通知タイプ：「キャンペーン修了」を選択します。
受信者：「ユーザー」にチェックをいれます。
テンプレートの選択：「NTTドコモビジネス」カテゴリから「トレーニングの修了（From KnowBe4）」を選択します。
保存：「保存」をクリックします。
※トレーニングの受講を完了するとユーザーに自動でメール通知をします。

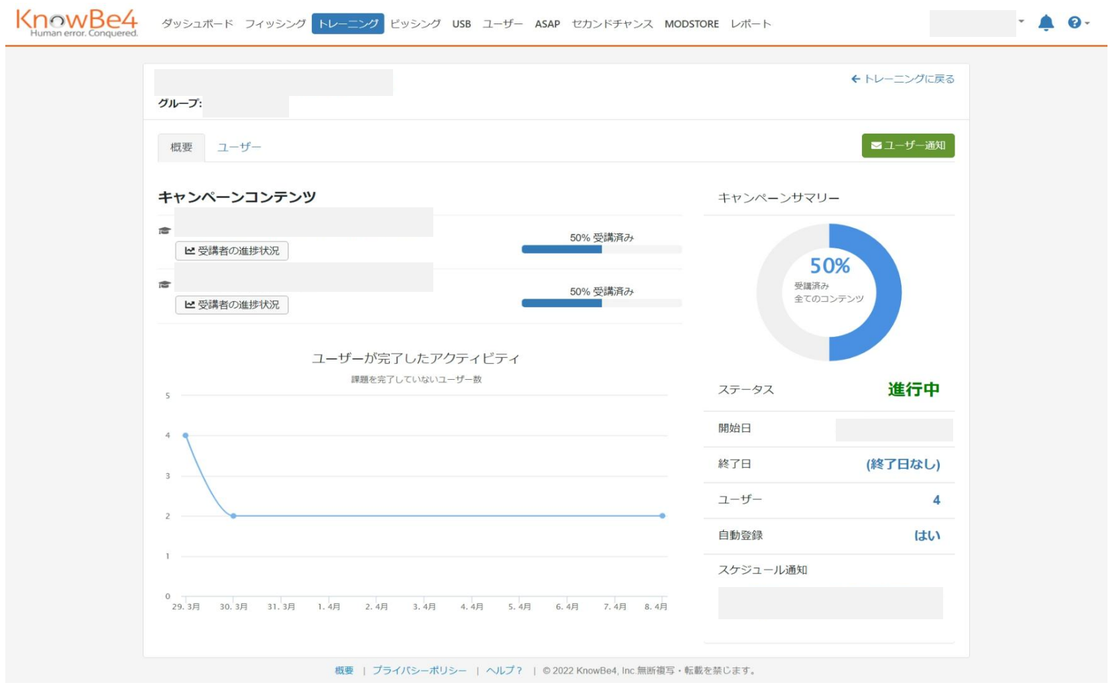
⑨全て設定が完了したら「キャンペーンの作成」をクリックします。

トレーニングキャンペーンが開始されました。

B-4 進捗・結果の確認

つなごう。驚きを。幸せを。
NTT docomo Business

トレーニングキャンペーン開始後は進捗や結果をキャンペーン毎に確認できます。



①メインメニューから「トレーニング」をクリックします。

②任意のキャンペーン名をクリックします。

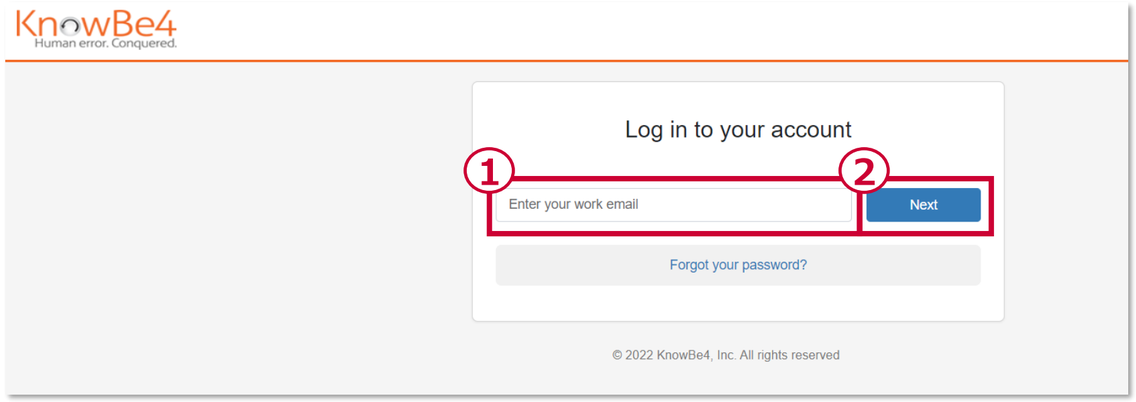
・「概要」タブではトレーニングキャンペーンの進捗を確認できます。

・「ユーザー」タブではトレーニングキャンペーンに参加しているユーザー毎の受講状況を確認できます。

・「調査結果」タブではトレーニングキャンペーンに使用しているコンテンツの有用性を確認できます。

C フィッシングメール訓練（フィッシング）

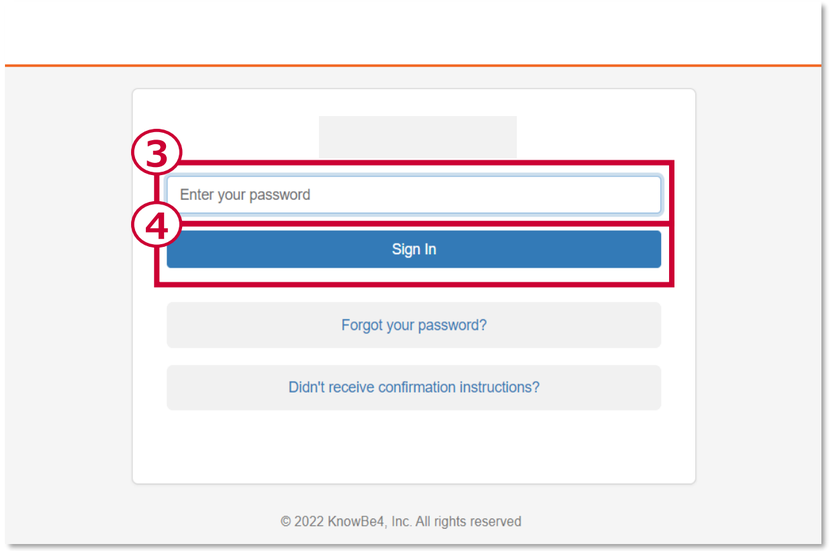
C-1 ログイン



KnowBe4（https://training.knowbe4.com）へアクセスします。

①登録済みのメールアドレスを入力します。

②「Next」をクリックします。



③登録済みのパスワードを入力します。

④「Sign In」をクリックします。

コンソールにログイン完了です。

C-2 訓練メールの選定

※NTTドコモビジネスオリジナルメールテンプレートを使用する場合は、C-2の手順は不要です。C-3へ進んでください。

フィッシングメール訓練で使用するフィッシングメールテンプレートを、あらかじめマイカテゴリへ登録します。

①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

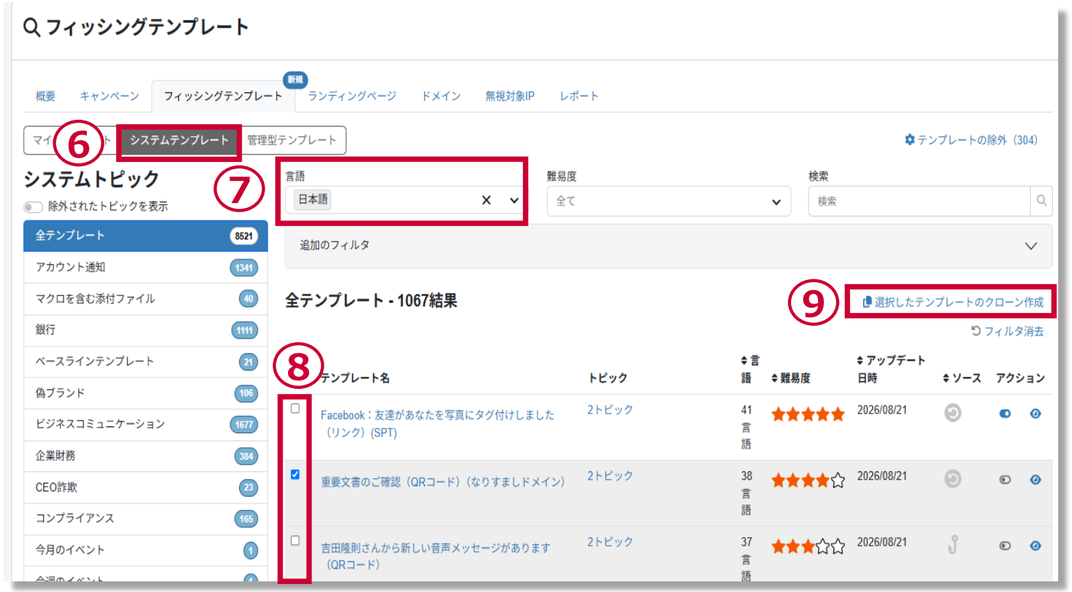
②「フィッシングテンプレート」をクリックします。

③「＋追加」をクリックします。

④トピック名を入力します。

⑤保存をクリックします。

C-2 訓練メールの選定



⑥「システムテンプレート」をクリックします。

⑦プルダウンで言語を指定することで、テンプレートを絞り込みます。

⑧使用したいテンプレートを選択します。
※アクションの目のマークをクリックするとプレビューが確認できます。

参考：おすすめメールテンプレート
・Microsoft: メールボックスが一杯です（リンク）
・Microsoft Teams：斎藤信也さんがメッセージを送信しました（リンク）（なりすましドメイン）
・IT：サーバーの定期メンテナンスのため、インターネットに接続できません（Word添付ファイル）（なりすましドメイン）
・Googleカレンダー：人事部との勤務状況打ち合わせに対する招待状（リンク）（ドメインのなりすまし）
・Amazon: 注文確認 (リンク)

⑨「選択したテンプレートのクローン作成」をクリックします。

⑩テンプレートとして使用する「言語」をプルダウンより選択します。

⑪テンプレートを保存する「トピック」をプルダウンより選択します。

⑫「クローン」をクリックします。

訓練メールがマイトピックに登録されました。

C-3 フィッシングキャンペーンの作成

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

フィッシングキャンペーンを作成します。

①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②「＋フィッシングキャンペーンの作成」をクリックします。

以下を参考にキャンペーン内容を設定します。

①キャンペーン名：任意のキャンペーン名を入力します。

②送信先：事前に作成した、訓練を実施するグループを選択します。

③テンプレートトピック：任意のトピックを選択します。

④難易度：テンプレートに設定されている難易度を絞る場合は指定します。

⑤テンプレートの選択：特定のテンプレートを選択するかトピック内のメールをランダム送信するかを選択します。ここでは特定のテンプレートを選択しています。

⑥特定のテンプレート：使用したいテンプレートを選択します。

★NTT ドコモビジネスオリジナルメールテンプレートについて
本マニュアル「A-6」に記載の②フィッシングテンプレートの、
③「マイテンプレート」内にある「**NTTドコモビジネス**」フォルダ には、
NTTドコモビジネスオリジナルメールテンプレート を格納しております。
各テンプレートはそのままご利用いただけますので、
内容をご確認のうえ、貴社の運用に合わせてご活用ください。

※次ページに続く

C-3 フィッシングキャンペーンの作成

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

（続き）以下を参考に、キャンペーンの内容を設定

⑦**フィッシングリンクのドメイン：**フィッシングメール本文内に含まれるフィッシングリンクのドメインを指定します。

⑧**ランディングページ：**フィッシングリンクをクリックしたときに表示させたいランディングページを指定します。

⑨**頻度：1回のみの配信か定期的に配信するかを選択できます。**ここでは１回のみの例を示します。

⑩**開始時間：**キャンペーンを開始する日時を指定します。
※キャンペーンの作成時間より10分以上経過した時間を設定してください。
(時間が十分に空いていないとメールが送信されません。また、送信時間は数分遅れることがあります)

⑪**送信期間：**訓練メールを一斉送信するか、一定期間内に分割して送信するかを指定します。

⑫**営業日と営業時間の定義：**メールが配信される曜日、時間帯を指定します。

⑬**フィッシングメールへの返信を追跡：**このオプションを有効にすると、ユーザーが模擬フィッシングメールに返信したかどうかを追跡できます。

⑭**テスト実績の追跡：**対象者が訓練メールを受信した後、指定した期間を過ぎると、
メール本文のリンクを開いても操作が記録されなくなります。

⑮**クリッカーを追加するグループ：**対象者フィッシングリンクをクリックしたユーザーを任意のグループに追加したい場合に使用します。使用しない場合は空欄でも結構です。

⑯**フィッシングテストの後に毎回、アカウント管理者にメールレポートを送信する：**
テスト終了後にメールでレポートを受け取りたい場合に使用します。

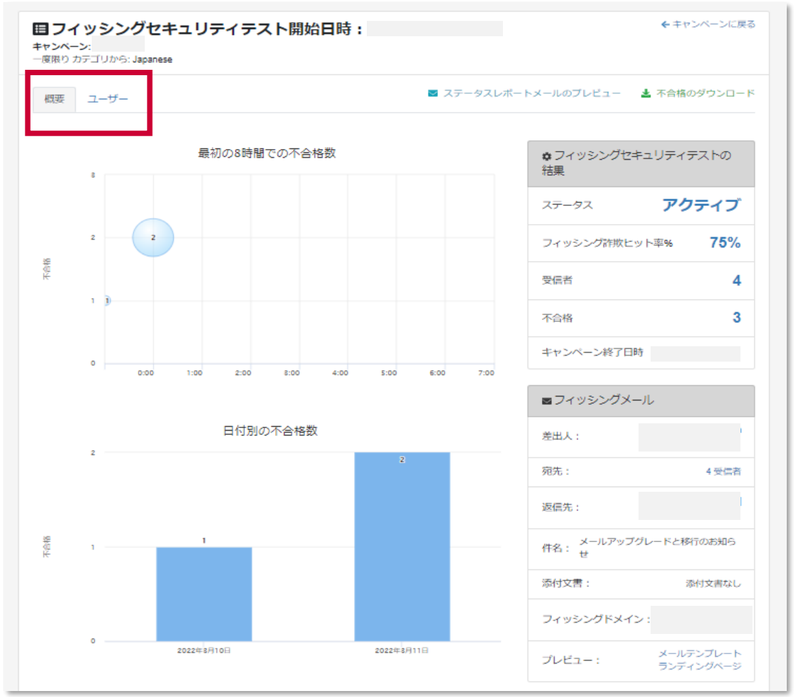
⑰**レポートに表示しない：**この項目を有効にした場合、訓練結果はレポートやリスクスコアに反映されません。配信テスト等で利用すると便利です。

⑱最後に**「キャンペーンの作成」**をクリック

C-4 結果の確認

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

フィッシングキャンペーン開始後は結果をキャンペーン毎に確認できます。



①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

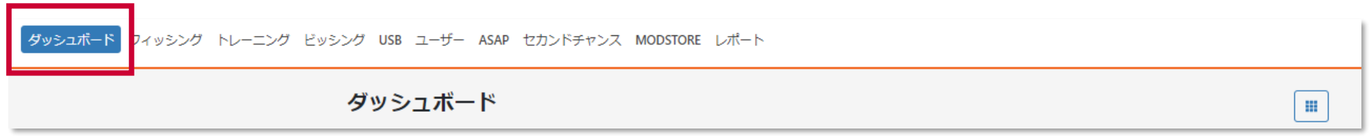
②任意のキャンペーンをクリックします。

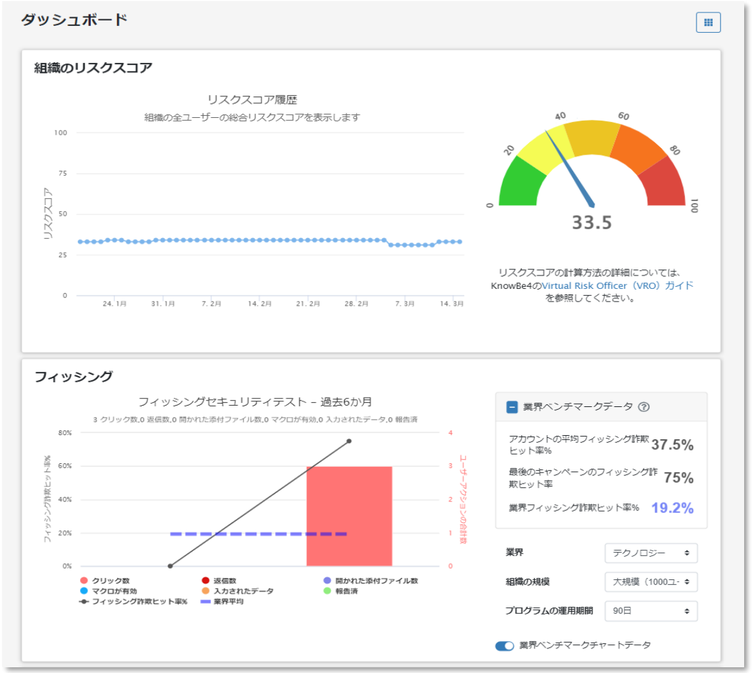
- 「概要」タブではフィッシングキャンペーンのヒット率や不合格数を確認できます。
- 「ユーザー」タブではキャンペーンに参加しているユーザー毎の結果を確認できます。

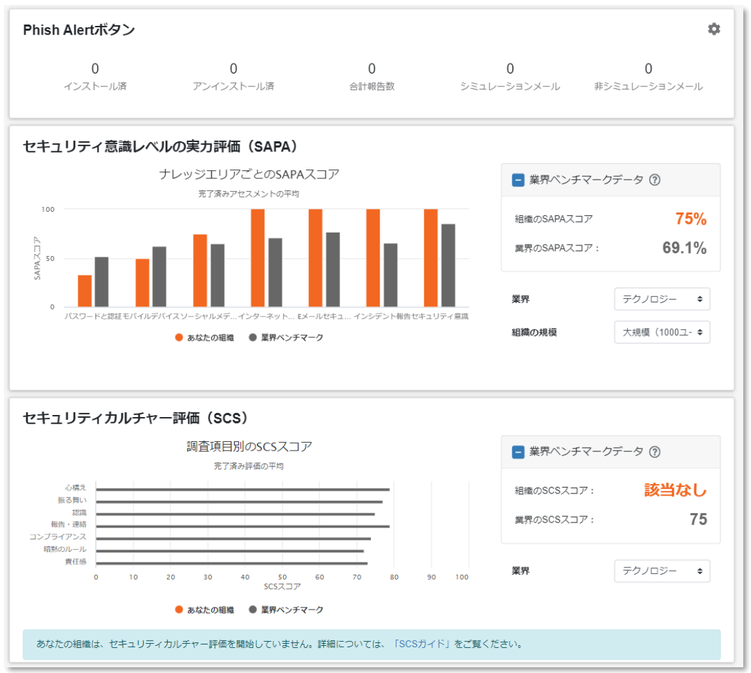
D 評価・分析

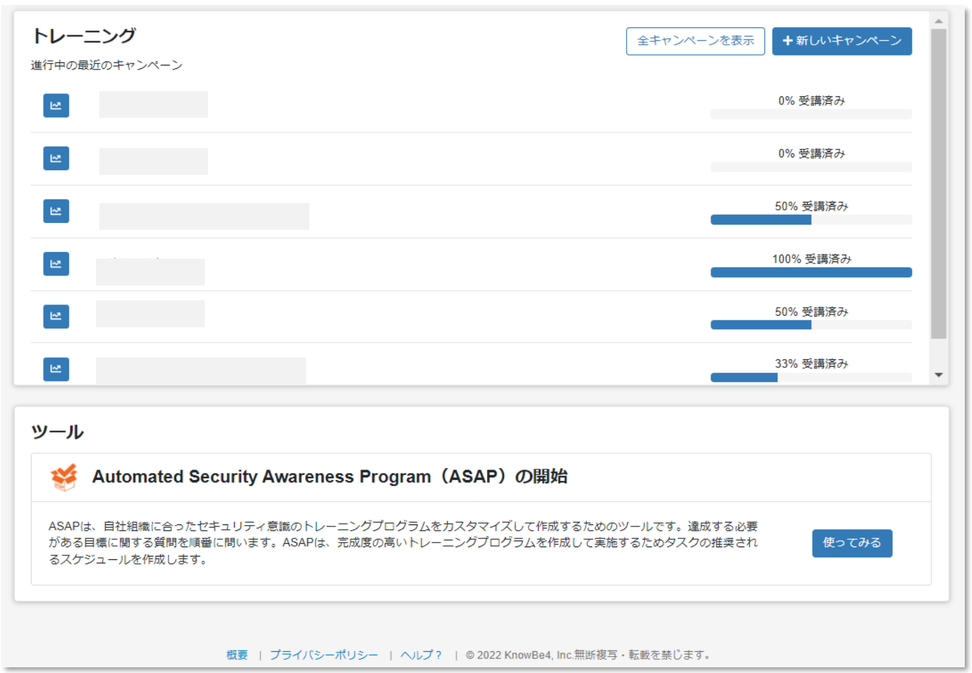
D-1 ダッシュボード

「ダッシュボード」では、キャンペーンの結果から様々な分析結果を確認できます。



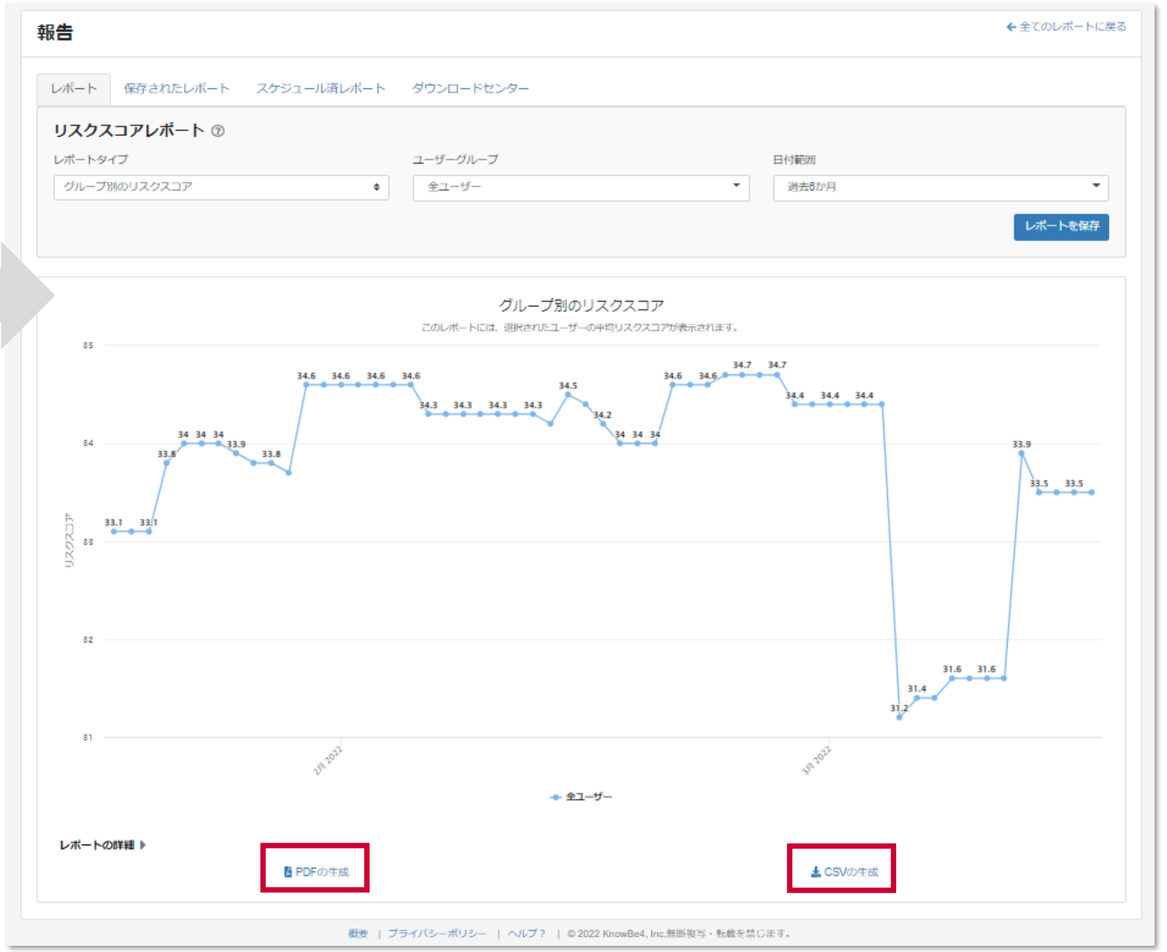






D-2 レポート

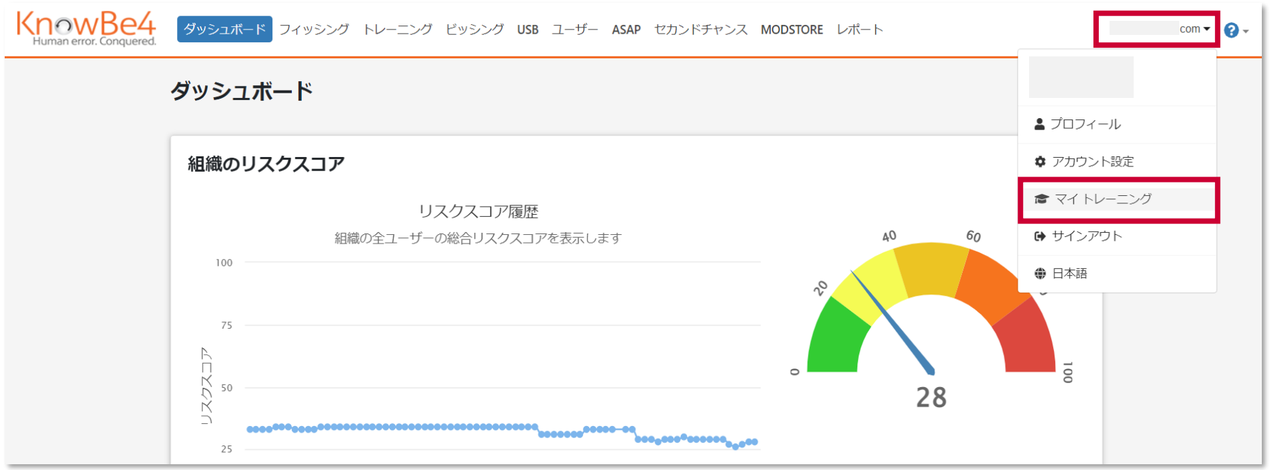
「レポート」ではキャンペーンの結果から10種類以上の様々なレポートを表示することができます。
各レポートは、PDFまたはCSVでダウンロードすることができます。



E マイトレーニング

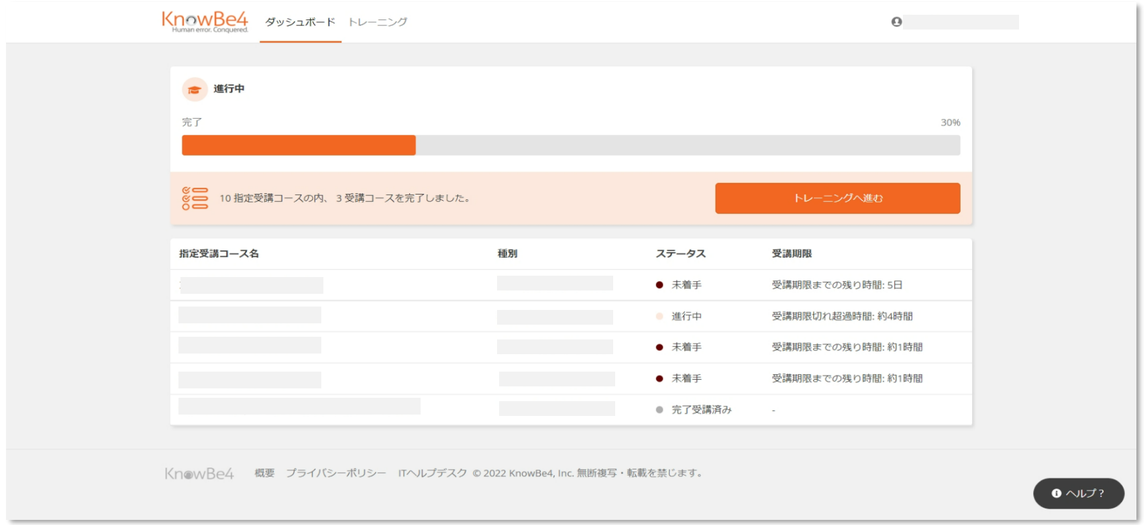
E-1 受講者ホームログイン

管理者がユーザーとして受講する場合は、受講者ホームへ切り替える必要があります。



①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「マイトレーニング」をクリックします。



受講者ホームにログイン完了です。

その他ユーザーとしての設定方法・操作手順については「ユーザーマニュアル」をご確認ください。

変更履歴

変更履歴

つなごう。驚きを。幸せを。
docomo Business

版　数	変更年月日	変更項目	変更 内容
1.0版	2022年4月28日	ALL	初版
1.01版	2022年7月1日	A-2 A-5 A-7	・多要素認証の設定についてロックがかかった際の注釈追加 ・ホワイトリスト登録について問い合わせの注釈追加 ・Phish Alertボタンの送信先アドレスについて注釈追加
1.02版	2023年1月11日	A-1	・初期ログインの手順を変更
1.03版	2023年５月８日	A-6	・URLフィルタリング設定手順の修正
2.00版	2023年11月15日	A-3 A-4 A-6 C-3	・グループ管理画面からセキュリティロールのメニューを削除 ・ユーザー管理画面からセキュリティロールのメニューを削除。管理者権限のユーザー作成について注釈追加 ・フィッシングリンクのドメインについて追加 ・フィッシングリンクのドメインについて追加
2.01版	2025年2月3日	表紙	サービス名の変更（「プロフェッショナルサービス（PS）」の削除）
2.02版	2025年2月26日	A-7	・Phish Alertボタンの設定方法の修正
2.03版	2025年8月15日	ALL	・社名変更（NTTコミュニケーションズ→NTTドコモビジネス）
2.04版	2025年8月27日	B-3 C-3	・カテゴリ名変更（NTT Com→NTTドコモビジネス）
2.05版	2026年6月3日	A-6 C-3	・ランディングページのドメイン確認する際の設定方法を修正 ・フィッシングキャンペーンの作成手順を修正
2.06版	2026年9月18日	A-7 C-2	・ナレッジベースのリンク先の変更 ・画面の更新（最新化）